

平成26年度 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 決算概要

1 財務諸表の概要

(1) 貸借対照表

平成27年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	128.7 億円	固定負債	87.7 億円
土地	12.0 億円	流動負債	28.2 億円
建物	95.6 億円		
流動資産	105.3 億円		【純資産の部】
現金及び預金	78.4 億円	資本金	72.5 億円
		資本剰余金	26.3 億円
		利益剰余金	19.3 億円
計	234.0 億円	計	234.0 億円

(2) 損益計算書

平成26年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純利益を表示

収益総額	166.3 億円
営業収益	165.2 億円
営業外収益	1.1 億円
費用総額	163.6 億円
営業費用	157.0 億円
営業外費用	6.6 億円
当期純利益	2.7 億円

* 当期の純利益は、積立金として処分する。

(3) キャッシュ・フロー計算書

平成26年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	17.9 億円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 0.02 億円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3.3 億円
IV 資金増加額	14.5 億円
V 資金期首残高	8.8 億円
VI 資金期末残高	23.4 億円

(4) 行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	7.6 億円
(1) 損益計算書上の費用	163.6 億円
(2) 自己収入等(控除)	▲ 156.0 億円
II 機会費用	0.4 億円
III 行政サービス実施コスト	8 億円

2 収支の状況

(1) 収支概要

平成26年度純利益……268,303千円 →▲307,673千円(対前年度差額)
 (平成25年度純利益……575,976千円)

- ・収益面では、平均在院日数の短縮や、逆紹介の推進等により入院、外来ともに延患者数が減少したが、7対1看護体制の導入効果等により診療単価が増加した。そのため1.6億円(前年度比1.0%)の増収となった。
- ・費用面では、職員数の増加による給与費の増や、消費増税の影響により4.6億円(前年度比2.9%)の増加となったが、収支差は、2.7億円と独法化後5期連続の黒字となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H25年度	H26年度	H26-H25	対前年度比	参 考
収益	164.7	166.3	1.6	1.0%	診療単価 (H25) (H26)
営業収益	163.6	165.2	1.6	1.0%	入院 58,710円 → 61,860円
うち入院収益	107.3	107.5	0.2	0.2%	外来 14,250円 → 14,829円
うち外来収益	42.5	43.9	1.4	3.3%	
うち運営費負担金	8.5	9.0	0.4	5.2%	患者数 (H25) (H26)
営業外収益	1.1	1.1	▲0.1	▲6.5%	入院 182,540人→173,459人
うち運営費負担金	0.7	0.6	▲0.1	▲10.4%	外来 297,719人→296,021人
費用	159.0	163.6	4.6	2.9%	
営業費用	153.8	157.0	3.2	2.1%	一般病床利用率 (H25) (H26)
うち給与費	76.4	78.7	2.3	3.0%	84.3% → 79.8%
うち材料費	39.8	39.3	▲0.5	▲1.2%	
うち経費	25.1	26.2	1.1	4.3%	
うち減価償却費	12.0	12.3	0.3	2.5%	
営業外費用	4.6	6.6	2.0	42.5%	
うち支払利息	1.2	1.0	▲0.2	▲16.7%	
うち控除対象外消費税	3.4	5.5	2.1	61.8%	
臨時損失	0.5	0	▲0.5	▲100.0%	
収支差	5.8	2.7	-3.1	-	

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

- うち入院収益 (0.2億円増) 診療単価の増加によるもの
- うち外来収益 (1.4億円増) 診療単価の増加によるもの

イ 営業費用

- うち給与費 (2.3億円増) 職員の増員によるもの
- うち材料費 (0.5億円減) 医薬品費の購入費用節減によるもの
- うち経費 (1.1億円増) 委託費用等の増加によるもの

ウ その他

- 営業外費用 (2.1億円増) 控除対象外消費税の増加